楽しく子育て！

～香川県立図書館 子育て支援コーナー通信～

第１４４号
発行日
２０１９年８月１９日
毎月１９日は、「かがわ育児の日」

司書のオススメ本 ～８月の新着図書から～

『3歳からできるお片づけ習慣　魔法の声かけで子どもが自分で動きだす!』
伊東 裕美／著　日本実業出版社／刊　2019. 7

ほんの少しのお片づけをしやすくする仕組みと「魔法の声かけ」で、3歳からでも自分でお片づけができるようになるそうです。
「魔法の声かけ」の一つに、「おもちゃがお家に帰りたいって言っているよ」などと、おもちゃの気持ちを代弁するというのがあります。そうすることで、子どもが物の気持ちを想像できるようになり、物を大切にする気持ちも芽生えるとのこと。
子どもにもっと物を大切にしてほしいと思っている方にもおススメの一冊です。

『かんたんに手作りできる赤ちゃん小物と服』
増山 優子／著　池田書店／刊　2019. 6

紹介されている小物や服は、ちょっとした工夫があって便利なものや、赤ちゃんが身につければ、かわいい小物など。やさしい色合いで、赤ちゃんに似合うものばかりです。
著者によると、手作りのものには、いろんなときに「つくってよかった」と思う瞬間があり、それは、作った人にしか味わえないしあわせのごほうびとのこと。
ミシンは苦手という人も大丈夫！どれも手縫いでも作れますよ。

＜８月の新着図書～ほかにもこんな図書が入りました～＞（　）は棚番号と内容です。

（支援1－3　育児百科）
・『すくすく赤ちゃん　小児科医がママとパパに贈るこころとからだをはぐくむ子育ての本』
田原 卓浩／[ほか]著　保健同人社／刊

（支援2－1　時短家事）
・『家事なんて適当でいい！ 最重要ミッションは家族と笑顔で生きること』 ボンベイ／著　KADOKAWA／刊

（支援2－2　子どもの食事）
・『子どもの能力を引き出す最強の食事　1日5分!たった2週間で子どもが変わる!』
ギール里映／著　日本能率協会マネジメントセンター／刊

（支援3－1　親としての心構え）
・『気づけない毒親』 高橋 リエ／著　毎日新聞出版／刊

（支援3－3　子育てのヒント）
・『父親が知らないとマズイ「女の子」の育て方　娘が社会に出たときに困らないように』 高橋 博／著　秀和システム／刊

（支援4－5　学力）
・『小学生の子が勉強にハマる方法 「やる気」を科学的に分析してわかった』 菊池 洋匡，秦 一生／著　実務教育出版／刊

（支援5－1　特別支援教育）
・『子ども理解からはじめる感覚統合遊び　保育者と作業療法士のコラボレーション』
高畑 脩平／[ほか]編著　クリエイツかもがわ／刊

（支援5－3　金銭教育）
・『10歳までに身につけたい子どもが一生困らないお金のルール』
三浦 康司／著　青春出版社／刊

●県立図書館の子育て支援コーナーの図書は、県内のお近くの市町図書館等から取り寄せができます。詳しくはお近くの公共図書館へご相談ください。

県内図書館　子育て支援コーナー訪問
～第８回　三豊市三野町図書館～

　このコーナーでは、香川県内の図書館の子育て支援コーナーや子育て支援関連行事を紹介しています。

　今回紹介する三豊市三野町図書館は、高瀬川を臨む三野町文化センターの１階にあります。蔵書冊数は、約4万１千冊（うち児童書２万１千冊）です。
　三野町図書館は、2001年に四国の図書館の中で一早く、０歳児検診で赤ちゃんに絵本をひらく楽しい体験と絵本をプレゼントする事業「ブックスタート」を始め、現在も継続しています。休日の館内では、お父さんが小さな子どもに読み聞かせをしている姿も多くみられるとのことです。

子育て支援コーナー

　子育て支援コーナーは、児童図書コーナーの隣にあります。
　妊娠、出産、育児、名付け、病気についての本を中心に約３５０冊が並んでいます。
◆司書より一言◆
　子育て支援コーナーの隣に赤ちゃん絵本を集めています。靴を脱いで、ゆっくりとお子さんと絵本を選べます。
　また、汽車型の書棚もあり、見た目も楽しいコーナーとなっています。是非ご利用ください。

赤ちゃん絵本コーナー

　カベには、三豊市内の図書館の講座で講師をされた絵本作家の先生のサイン色紙が、ずらりと並んでいます。

児童図書コーナー

　三野町図書館では、毎月第２土曜日１４時から３０分間、読み聞かせボランティア「ももの会」によるおはなし会を開催しています。
　内容は、絵本の読み聞かせやエプロンシアター、パネルシアター、工作など盛りだくさんです！
　●対象：幼児から小学生
　●場所：赤ちゃん絵本コーナー

★次回開催は、９月１４日（土）です。お気軽にお越しください！

＜子育て支援担当より＞
★編集後記★
　長かった夏休みももうすぐ終わりですね。小学生のお子さんを持つ親御さんのこの時期の心配ごといえば、夏休みの宿題ですね。我が家の息子は、去年まで、自由研究や工作などを早く済ませようという気が全くなく、母の励ましを受けながら、やっとの思いで終わらせていました。4年生になった今年は、宿題の量がぐんと増え、さすがに自分の置かれている状況が見えて来たようです。夏休み前からやりたいことをちゃんと決めていました。1年でこんなに変わるものかと成長をうれしく思っています。